

KDDI Smart Mobile Safety Manager GRATINA KYF37 の対応開始について

KDDI株式会社

2021年11月25日



GRATINA KYF37とは

- 2017年12月23日発売の京セラ製4G LTEケータイです。

<https://www.au.com/mobile/product/featurephone/kyf37/>

- KDDI Smart Mobile Safety Manager 4G LTE ケータイプラン（以下、SMSMと言います）に対応します。

快適な通話機能と使い心地。わたしたちに
ちょうどいいGRATINA



グリーン



ピンク



ホワイト



ネイビーブラック

※KDDI法人販売は、ホワイトとネイビーブラック、2色の予定です。

これまでのSMSM 4G LTEケータイプラン対応機種との違い

- 『GRATINA KYF37』は『GRATINA 4G (KYF31/KYF34)』および『TORQUE X01』と、以下の対応が異なります。

項目	GRATINA 4G (KYF31/KYF34) TORQUE X01	GRATINA KYF37
アプリケーションの活性化方法	待ち受け画面でシークレットコードを入力してアプリケーションを活性化	「※法人メニュー」からアプリケーションを活性化
利用開始時のエージェントアプリのバージョン	古いバージョン ※アプリケーション活性化後に最新バージョンへアップデートする必要があります	最新バージョン ※アプリケーション活性化時に最新バージョンへ自動的にアップデートされます
ウイルス対策	SMSMでは対応なし ※auスマートパス(300円/台、auID必須) 加入で「ウイルスバスターfor au」をご利用頂けます	SMSM「ウイルス対策」オプション(200円/台)を提供 ※「法人メニュー」から活性化します
SMSMの機能	「ウイルス対策」オプション以外の全機能を利用可能	「ウイルス対策」オプションを含む全機能を利用可能
「法人メニュー」の搭載	非搭載 ※法人向けアプリはSMSMのみ	搭載 SMSMに加え「KDDI Smart アドレス帳」「ウイルスバスター」を搭載

※エージェントアプリのアップデート方法は変更ありません

(参考) 「法人メニュー」アプリの初期設定手順

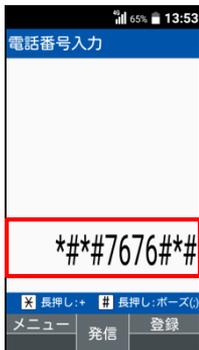
- SMSMの活性化は法人メニューから実施するようになります。
- SMSM活性化の前に、以下手順で「法人メニュー」の初期設定を行います。

※詳細は 13～15ページの「法人メニュー 説明資料」をご参照ください。

※本手順は、GRATINA KYF37以降発売された機種対応です。

待ち受け画面にて
「***#7676#***」
を入力する

※最後の文字「*」は端末画面では表示されませんのでご注意ください



初期設定が完了するまで
少々お待ちください

※ネットワークに接続できる環境が必要です。



初期設定の完了です

※アプリ画面の一番上に表示されます。



「法人メニュー」からのSMSM初期設定手順

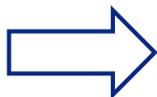
■ 以下手順で SMSM の初期設定を行います。

※本手順の対応機種は、GRATINA KYF37以降発売された機種です。

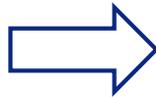
その他対応機種の初期設定は以下マニュアル「STEP5：エージェントを更新する」をご参照ください。

https://www.optim.co.jp/promotion/smsm/pdf/4GLTE_QuickStart.pdf

① 「法人メニュー」アプリを起動します



② 「メニュー」を選択します



③ 「KDDI Safety Manager」を選択します

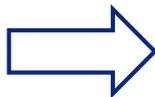


<<次ページに続きます>>

「法人メニュー」からのSMSM初期設定手順

<<次ページからの続きです>>

④初期設定が始まります



⑤SMSMの画面が表示されれば、設定完了です



⑥「法人メニュー」にアイコンが表示されます ※初期瀬亭後は、アプリ画面へ表示されます



SMSM ライセンス認証を行う

■ 以下手順で SMSM のライセンス認証を行います。

※本手順は、全機種種の共通手順です。以下マニュアル「STEP6：ライセンス認証を行う」と同じ内容です。

https://www.optim.co.jp/promotion/smsm/pdf/4GLTE_QuickStart.pdf



SMSM エージェントバージョンを確認する

■ 以下手順で SMSM のエージェントバージョンの確認を行います。

※「ウイルス対策機能」をご利用の場合は、「v.7.4.260.0」以上のバージョンで利用可能となります。

※法人メニューからインストールする際に、通信エラーだった場合に旧版エージェントアプリがインストールされることがあります。

⑥ 「KDDI Safety Manager」を選択します



⑦ エージェントアプリバージョンを確認します。



⑧ 「v.7.4.240.0」だった場合、スライド6の操作①~④「再初期設定」を再度行います。

※「v.7.4.260.0」だった場合は、そのままでもウイルス対策機能はご利用可能ですが、バージョンアップをすることをお勧めします。手順は以下の通りとなります。

(1) 「同期」を選択します



(2) 「ビックリマーク」を選択します



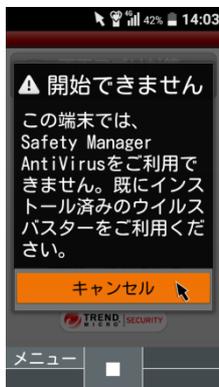
(3) SMSMのバージョンアップ通知を選択します



4G LTEケータイ向け ウイルス対策機能 のエラー表示について

法人メニューからウイルス対策機能「Safety Manager AntiVirus」をダウンロード後にエラー表示が出た場合は、まず管理サイトの設定が正しいかご確認ください。

■ エラー表示 画面



【管理サイト】で設定が正しいか確認する。



① 機器

② ウイルス対策機能を設定する 端末 を選択

③ 【プロファイル】を確認する

- ・ウイルス対策が設定してあるプロファイルを配信しているか確認する。

④ 【オプションパッケージ】を確認する

- ・「ウイルス対策（ケータイ）」にチェックが入っているか確認する。

管理サイトの設定が正しければ、「法人メニュー」からのSMSM初期設定手順（スライド6）の操作①～④を行い、「再初期設定」を完了させてください。

※④の「はい」を押下すると「再初期設定」が完了します。

4G LTEケータイ向け「ウイルス対策」オプションの提供開始

SMSM 4G LTEケータイプラン向けに「ウイルス対策」オプションを提供開始します。

■ 提供開始の背景

4G LTEケータイは、Play ストアのようなマーケットアプリを利用できませんがパソコンにつないだり、メールにアプリデータを添付したりすることで、プリインストールされているアプリ以外を、端末に入れることができます。

悪意あるユーザーや第三者によって、端末を不正に利用されないよう、「ウイルス対策」オプションをご利用ください。

■ 対応機種

GRATINA KYF37

GRATINA KYF39 ※GRATINA 4G/TORQUE X01はご利用頂けません。

4G LTEケータイ向け「ウイルス対策」オプションの提供開始

■ 機能概要

不正アプリケーションの侵入を検知し、端末への感染を防御します。
不正アプリケーション検知時は管理者へ自動的に通知できます。

- ・不正アプリケーション検知
(リアルタイム/手動スキャン)
- ・定期スキャン実行



パターンファイル更新サーバ



KDDI Smart Mobile
Safety Manager 管理サーバ



- ・ウイルス対策ポリシー設定
- ・ウイルス対策状況確認
- ・各端末へのライセンス適用

更新

- ・ポリシー適用
- ・検知情報通知

検知!

不正アプリケーションインストール

ウイルス対策

不正アプリケーションサイト



- ※auスマートパス/auスマートパスプレミアムをご加入の場合は、ご利用頂けません。
- ※基本プラン「ウイルス対策」と同じアプリを利用しているため、一部アプリ画面の画面崩れが見られます。
- ※ご利用には、ポインターモードでの操作が必要です。
- ※ご利用には、お客さま管理者によるウイルス対策利用設定と、端末へのウイルス対策用アプリケーションのインストールが必要です。
- ※パターンファイルの更新のため、インターネットを介して更新サーバと通信します。閉域網をご利用の場合、本オプション機能はご利用いただけません。
- ※機種によっては、ウイルス対策に関する設定が端末に反映されるまで数時間かかる場合があります。
- ※管理者ウェブサイトで端末のライセンスを解除した場合、端末側では即時停止とならず、最大2日間ウイルス対策が利用できます。

法人メニュー 説明資料

法人メニューの説明①

KDDI 法人向けサービス用アプリを一覧で表示するメニューとなります。他にプリインストールされている個人向けアプリと別に表示することでご利用者に見つけていただき易くしました。

■ 利用シーン

本アプリの利用シーンは以下のような代表的なケースを想定して提供しております。

- ・フューチャーフォン利用者が4GLTEケータイ機種変更で端末管理を行いたい場合
- ・企業がスマートフォンと4GLTEケータイを導入し、アプリを共通で使わせたい場合

■ 利用方法

「法人メニュー」を起動後、ご利用されるアプリケーションを選択し、クリックします。その後、選択されたアプリケーションのご利用が可能となり、グレイアウトからカラーに変わるとご利用環境が整います。ご利用時には各アプリケーションのご利用方法をご参照ください。

■ 法人メニュー表示アプリケーション

- ・KDDI Smart Mobile Safety Manager
- ・Safety Manager AntiVirus (SMSM ウイルス対策オプション)
- ・KDDI SMARTアドレス帳

※「KDDI Smart Mobile Safety Manager」「KDDI SMARTアドレス帳」のご利用には、お申し込みが必要です。

※「Safety Manager AntiVirus」のご利用には、SMSMの「ウイルス対策オプション」のお申し込みが必要です。



法人メニューの説明②

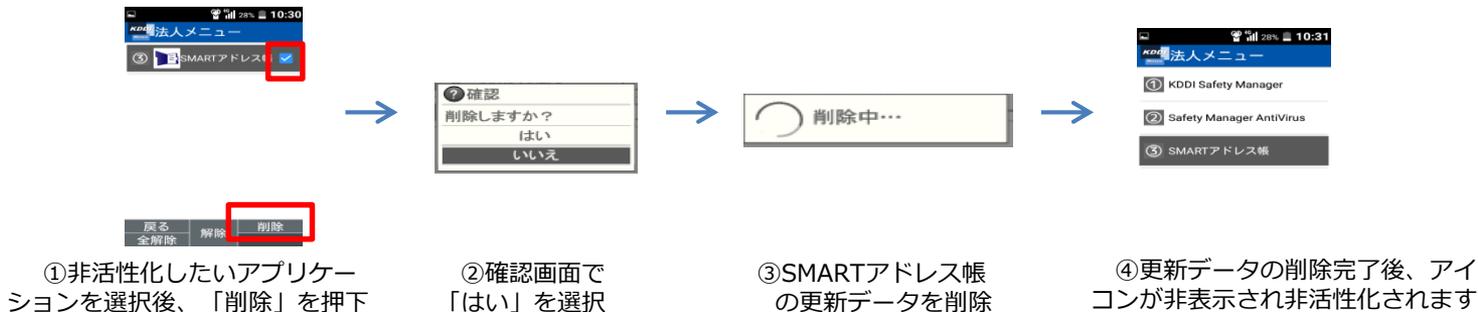
■ 初期設定

ダイヤル画面にて「*##7676#*##*」を入力し、「法人メニュー」が表示後、プリインストールされているアプリが表示されます。「法人メニュー」の初期表示時、アプリアイコン表示はされていませんが、各アプリのアプリ利用に必要なデータの取得をするとアイコンが表示されます。



■ 活性化されたアプリの削除（非活性化）

活性化されたアプリケーションの非活性化は「法人メニュー」内で操作可能です。



Tomorrow, Together

KDDI